



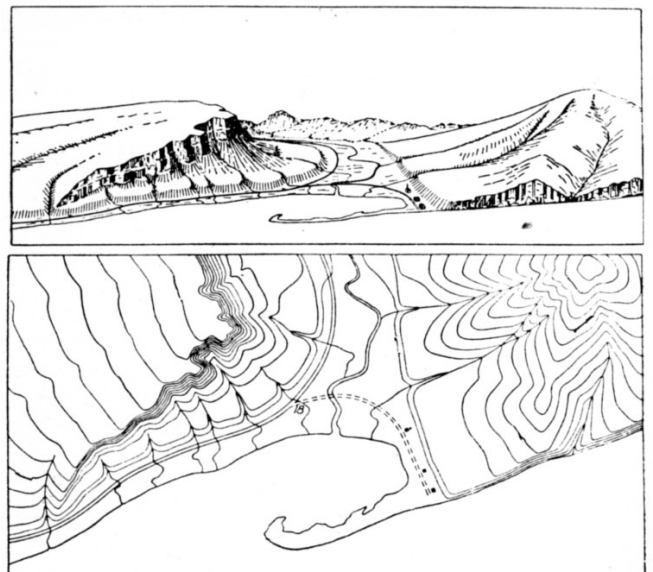
オリエンターリングを楽しむには最適な季節がやってきました。スポーツの秋です。どんどん大会に出て、腕をみがきましょう。

今回は等高線から地形を読むことを覚えましょう。



尾根を走って登る競技者

△等高線とは簡単に言えば同じ(等しい)高さを結んだ線です。しかし等高線の形や間隔は地形を表現しており、まわりから高いところ、低いところ、急な斜面、緩やかな斜面を表現するとともに、細かな地形やおおらかな地形、緩急の変化を表現しています。

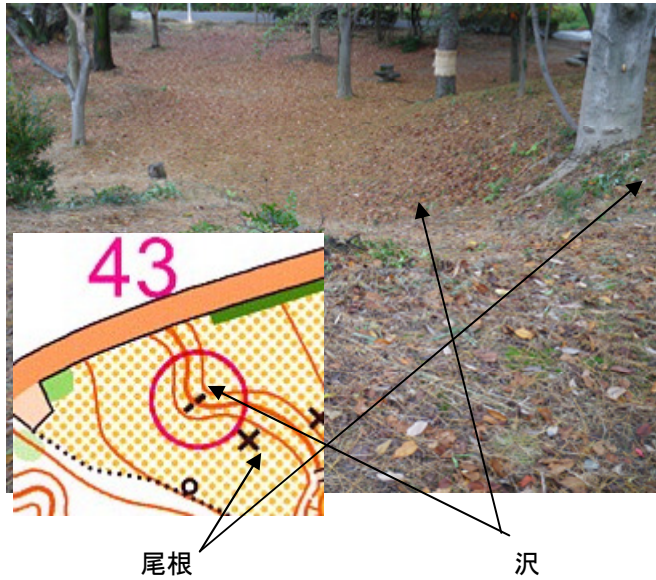


昭和46年講談社発行「オリエンターリング」(著者 紺野晃)より 著者



前頁の遠くからながめた図と地図の等高線の形を比べてみると緩急、高低、細かい地形がわかると思います。

△簡単な地形と等高線での表現を覚えよう



こまかい尾根・沢などにはコントロールがよく置かれます。また、尾根と沢は読み間違えることがしばしばありますので、気を付けましょう。

コントロールの場所は沢と思っていたが位置説明をみたら尾根だったということがあります。早めに確認をするのがよいでしょう。



南西の耕作地と北東の耕作地のどちらが高いかも間違えることもあります。よくあるのは、コントロールは矢印のある沢ですが、目立つ東の尾根と思い込むことがあります。

今の季節はこんなことに気をつけよう

【衣服に付く草の実】

秋のいやなものに引っ付き虫といわれ、種子を人の衣服にひっついて子孫繁栄を図ろうとするいやらしい植物があります。オリエンテーリングは野山を走破するスポーツですので、引っ付き虫にとっては、まってきたとばかり活用されてしまいます。

オリエンテーリングウェアの素材は毛羽立っていないので比較的くっつきにくいですが、その比較写真をお見せできなく残念です。



代表的くっつき虫 コセングサ



対策としては オリエンテーリングの競技用衣服を用意し、それに着替えて競技するのがよいでしょう。

次回はルートプラン、アタックを覚えましょう。